

「那覇の江」
日の光
雲にこもりて、むし暑し。
霽れ方になる晝の
まばゆさ
（「遠やまひこ」）
釈 遥空

国学院大学 令和5年6月20日(火) 定期号(毎月20日発行) 1部20円
【発行】国学院大学 【編集】総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目 【電話】03(5466)0130 【FAX】03(5466)0528

祭 儀 ■ 大祓(夏越の祓) 6月30日(金) 午後4時 神殿 ■ 月次祭 7月1日(土) 午前10時 神殿

人間開発学部

学部長に聞く

それぞれの学部が
目指す未来②

観光まちづくり学部

国学院大学では、4月より2期目を迎えた針本正行学長のもと新体制がスタートした。社会が大きく進む中、6学部の学部長はどのような想いで学部の運営にあたるのか。6月号では、人間開発学部と観光まちづくり学部の2学部長に、目指す研究・教育の未来について聞いた。

平成21(2009)年度に「人づくりのプロの養成」を掲げ開設された人間開発学部は、太田直之教授が新学部長に就任した。太田学部長は「私たちが目指す人間開発とは、人それぞれの持つ可能性が自然に育ち、発露する形だ」と語る。開設以来、学部が重視してきた「人間力」の育成にも触れ、「少人数教育と現場での実践的な教育を続けた。

令和4年度にスタートした観光まちづくり学部の西村幸夫学部長は「地域を見つめ、地域を動かす」研究・教育を掲げる。地域の良さ、資産を客観的に見いだす目を養うことを重視する西村学部長は、「地域の歴史や文化を深く考察し見つけることで、地域の個性的な物語がわかる」と語り、「地域の物語の『次の章』を創る起点となる人物を育成したい」と語る。そして、観光まちづくりの視点から「さまざまな地域が盛り上がりつついく研究と教育を描いていきたい」と想いを語った。

4・5面に
関連記事

みはるかすもの

6月8日に関東地方が梅雨入りした。これからの季節、梅雨に加えて台風、ゲリラ豪雨など、とかく「雨」に悩まされることが多くなる▼近年では、コンクリートで覆われた都市部で、河川や下水道などの排水能力を超えた豪雨によって行き場を失った水が、地表や地下空間に溢れる都市型水害のリスクが叫ばれている。対策として、地下貯水空間などの整備が進む▼整備工事を行う企業に勤める院友は昨年、本紙(令和4年10月号)の取材に「緑の下だが、我々の仕事は人々の暮らしを支えている」と胸を張っていたことを思い出す▼一方、この時期の適度な降雨は稲作や野菜作りで作物

令和4年度卒 就職率96・8%

前年度比1・9ポイントの増加

令和5年3月卒の国学院大学卒業生の就職率は、96・8%と前年から1・9ポイント増加した。売り手市場を受けて民間企業へ進む割合が増え、なかでも金融業界は昨年から2ポイント増加。上位3業種は前年同様「サービス」「商社・小売」「教育」となった。

公務員は国家・地方合わせ110人となり、前年から36人減少した。教育関係では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員と保育士を合わせ207人となった。各自自治体による教員採用試験に合格し、公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の正規採用となった新卒業生は81人だった。神社関係では、153人の神職資格取得者のうち、109人が神社界(奉仕先神社が実家の場合も含む)に進んだ。

6月1日には令和6年3月卒業予定者の採用活動が解禁となった。コロナ禍以降、説明会や面接はオンラインが中心だったが、昨年から対面実施も再開の傾向がみられ、オンラインと対面とを併用しながらの採用活動が進んでいる。キャリアサポート課の担当者は「学生の就職環境は『売り手市場』とよく言われるが、より充実した社会人生活を迎える

ためには、低年次からの積極的な準備が年々重要になっている」と話す。

年々早期化が進む就職活動。令和7年3月卒業予定の3年生はインターンシップへの応募や説明会への参加を始めている。インターンシップは、特に夏季に実施する企業が多い。3年生に向けてこの夏の過ごし方や就職活動を進めていくうえでアドバイスをK・DNAⅡ面に掲載している。

令和4年度
卒業生進路
業種別内訳

サービス 29%
商社・小売 17%
教育 12%
金融 8%
メーカー 7%
公務員 6%
運輸・通信 4%
不動産 4%
神職 4%
マスコミ 3%
非営利 3%
建設 3%



参加者と交流しつつ熱弁をふるった高野氏

音楽ジャーナリスト、美学者として活動する院友の高野昭夫氏（昭63卒・96期哲）を講師に迎えた国学院大学文学部講演会が5月27日、渋谷キャンパス5202教室で開催され、「美—その存在、価値、認識など」と題した講演に多くの聴衆が耳を傾けた。

ドイツの音楽家でバロック音楽の掉尾を飾ったバッハ（1685～1750）に中世時代から傾倒した高野氏は、本学で哲学を学んだ後に「ベルリンの壁」崩壊直後のドイツに単身渡航。バッハが音楽指導者を務めたライプツイヒの聖トーマス教会を訪問して現地の関係者と交流を深めてから紆余曲折を経てバッハ関連団体や楽団で広報を担当している。音楽の専門知識は学んでいないものの「バッハの宣伝マン」を自任し、令和3年10月には郷里の富山を拠点に日本バッハ協会を設立して会長に就任した。

講演では、「美」という漢字が「羊」と「大」の融合から成ることを説明し、紀元前1000年よりも昔の古代ギリシャや古代中国などで神に捧げられた生贄の「羊」が「美」の根本にあることを指摘。さらに「キリスト教においてはイエスが『神の子羊』とされ、神・イエス・聖霊の三位一体という信仰の中心に位置づけられる」とし、キリスト教文化圏における「美」の重要度を解説した。

一方で、感覚には一人一人さまざまな差異があることを確認するため、バッハの楽曲に加えて同時代（バロック音楽後期、18世紀前半）に活躍したヘンデルやヴィヴァルディの作品を聴いてもらって「どれが一番美しいと感じるか？」と質問。さらに、「教会（宗教界）では聖なる物と俗なる物とに分けがちだが、『美』とは普遍的なものであり聖も俗もない。視覚や聴覚

「そこにある『美』を見よう」 文学部講演会

文学部講演会

生成系AIの利用 留意事項を発表

生成系AIの利用に関する留意事項

①	生成系AIの利用にあたっては、膨大なデータベースから自然言語処理技術に基づいて生成された回答であることを認識してください。生成された情報の正確性と正当性を常に疑い、自身の責任において検証することが重要です。
②	生成系AIが作成した文章を転記することは、剽窃・盗用とみなされ不正行為になる場合があります。また、他者の著作物が含まれていた場合は、著作権侵害に問われる可能性があります。
③	個人情報や機密情報などは、生成系AIに入力しないでください。その情報が意図せず流出する可能性があります。
④	生成系AIの利用によって何らかの問題が生じた場合、利用者自身の責任となることを認識してください。

近年、急速に発達した人工知能（AI）技術を利用して文書を自動で生成する「ChatGPT」をはじめとした生成系AIについて、国学院大学は利用に関する学長メッセージを6月1日に発表した。

針本正行学長は「学生の皆さん一人ひとりが自己実現のために『知』を探究し、主体的に学びを深めていくことが最も重要」とし、生成系AIの利用にあたっては「仕組みを理解し、利用上の課題を認識する必要がある」と呼び掛けた。

併せて、留意事項として「生成された情報の正確性と正当性を疑い検証すること」「生成系AIが作成した文章の転記は剽窃・盗用による不正行為や著作権侵害に当たる可能性があること」「個人情報や機密情報の流出に繋がる可能性があること」を挙げた。

生成系AIは膨大な学習データに基づき、利用者の入力した指示に応じた文書を自動的に生成するもの。生産性や効率化の向上に役立つ利便性が注目される一方で、教育現場では思考力や文章力の低下、著作権の侵害などの懸念が挙げられている。本学では急速に変化する生成系AIを取り巻く状況を受け、常に最新の情報を確認するよう呼び掛けている。



学校法人国学院大学人事 監事に3氏を選任

任期満了に伴う学校法人国学院大学監事の選任が5月25日の第2回理事会で行われ、新たに3氏が選ばれた。任期は令和5年6月1日から令和9年5月31日までの4年間。

◆監事▷小瀬孝雄▷植草茂樹▷寺澤悠



小瀬監事



植草監事



寺澤監事

ベスト・ティーチング賞表彰



国学院大学は「令和4年度 学生が選ぶベスト・ティーチング賞」の表彰式を5月23日、渋谷キャンパスで開催した。

この賞は学生が授業の達成度や満足度について答える「授業評価アンケート」の結果に基づき、教員を表彰するもの。当日は針本正行学長から賞状が手渡され、受賞教員の創意工夫をたたえた。受賞者は以下の通り。

◆文学部▷矢部健太郎教授▷進藤久乃准教授
◆経済学部▷辻和洋助教◆法学部▷甘利航司教授◆神道文化学部▷鈴木聡子准教授◆人間開発学部▷備前嘉文准教授◆観光まちづくり学部▷金今善准教授◆兼任講師▷久保哲也講師▷田中章義講師▷手島純講師

高校教員招き入試説明会



高校教員を対象に国学院大学の入学試験制度や教育の特徴などを説明する入試説明会が5月26日、渋谷キャンパスで開催された。

冒頭、針本正行学長が「この説明会が先生方の受験生に対する進路指導の一助となれば」とあいさつ。続いて入学課職員が令和5年度入試の実績と令和7年度入試制度の新学習指導要領への対応などについて説明した。

当日は個別相談ブースも設けられ、各学部の教員や入学課職員が高校教員からの質問に応じた。

院友大会4年ぶり開催 世代超え交流深める

令和5年度院友大会が5月27日、院友会館で開催され、約160人が参加した。

冒頭、吉田茂穂同会会長（昭41修・74期神専攻他、鶴岡八幡宮宮司）が「規模はまだ縮小しての開催だが、4年ぶりに国学院大学を心柱とする同窓が集った。皆さんと本会の新たな在り方や後輩への支援などを語りたい」とあいさつ。続いて針本正行学長による乾杯が行われた。会場では、院友たちが世代を超え交流する姿が多く見られた。最後は全学応援団のリードにより校歌斉唱。盛況のうちに幕を閉じた。

経済学部ゼミ相談会
上級生が工夫凝らし開催



経済学部の第1回ゼミ個別ブース相談会が5月10、11日に渋谷キャンパスで開催された。この相談会は、2年次後期から開講されるゼミ授業「演習Ⅰ」の応募を前に、ゼミ選択に役立ててもらおうと経済学部の学生たちが企画、運営し毎年実施している。

当日は、各ゼミがそれぞれの研究テーマや活動内容を紹介。2年生は相談ブースを巡り、ゼミの雰囲気などについて積極的に質問し、上級生たちは熱心に答えていた。紹介動画を制作するゼミもあり、上級生の創意工夫が後輩たちのゼミ選びを後押ししていた。

たまプラーザ宇宙の学校
自然科学の学びを提供



人間開発学部が主催する「たまプラーザ宇宙の学校」の令和5年度第1回が5月27日に開催され、事前抽選で当選した小学1・2年生の親子連れ約40組が参加した。

開校式では、校長を務める近藤良彦・同学部教授により地球をテーマにしたミニ講演会が行われた。その後は、「傘袋ロケット」のプログラムが行われた。同学部の学生が風船を用いてロケットが飛ぶ原理をわかりやすく説明したのち、子どもたちが学生や保護者とともに傘袋を使ったロケット工作に挑戦。より遠くまで飛ぶように羽を付けたり、位置を工夫するなどチャレンジを重ね、飛距離を伸ばすたびに子どもたちは笑顔を見せていた。

このイベントは同学部が子どもたちに理科教育、なかでも自然科学分野での教育を充実させる機会として開催。宇宙航空研究開発機構（JAXA）などの協力のもと、学生が準備や運営を担っている。

全国院友高等学校長会総会
学生への支援策など決議

全国院友高等学校長会の総会が5月17日、渋谷キャンパスで開催され、各地で高等学校長を務める院友（卒業生）と針本正行学長ら約40人が参加した。

はじめに櫻井丸会長（昭60卒・93期法、八千代松陰中学・高等学校〈千葉〉）が「ぜひ母校から一人でも多くの教員を輩出してほしい」、針本学長が「教員志望の学生を教職員一体で支援していく」とあいさつ。続いて、教員志望学生への支援策などが審議・承認されたほか、本学の教員就職状況や入学試験の近況が報告された。

終了後の懇親会では、院友校長と各学部教員らが情報交換を行うなど交流が持たれた。

令和4年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月25日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。

令和4年度は、学校法人のガバナンス強化と事業運営に関する情報公開への社会的要請を背景に、新たに策定した「中期5カ年計画」に則り、事業を円滑に遂行した。

法人で創立140周年、国学院大学北海道短期大学部で創立40周年、国学院大学附属幼稚園で創立70周年を迎えるなど法人各校の節目の年となった。一方で、新型コロナウイルス感染症や世界的なエネルギー価格の高騰による影響など、柔軟な対応が問われる1年となった。

財務面では法人全体で基本金組入前当年度収支差額が7億5400万円の収入超過となり、厳しい状況下においても堅調な決算となった。

※詳細は本法人ホームページをご覧ください

資金収支計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:百万円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金収入	14,214	14,142	72	人件費支出	10,455	10,533	△78
手数料収入	697	750	△53	教育研究経費支出	4,539	4,331	208
寄付金収入	287	317	△30	管理経費支出	1,362	1,263	99
補助金収入	2,828	2,762	66	借入金等利息支出	9	9	0
資産売却収入	0	60	△60	借入金等返済支出	1,245	1,245	0
付随事業・収益事業収入	170	211	△41	施設関係支出	237	152	85
受取利息・配当金収入	180	215	△35	設備関係支出	342	265	77
雑収入	535	648	△113	資産運用支出	2,657	2,711	△54
借入金等収入	501	500	1	その他の支出	412	681	△269
前受金収入	2,913	2,918	△5	予備費	309		309
その他の収入	1,517	1,528	△11	資金支出調整勘定	△325	△513	188
資金収入調整勘定	△3,356	△3,431	75	当年度支出合計	21,242	20,677	565
当年度収入合計	20,486	20,620	△134	翌年度繰越支払資金	8,849	9,548	△699
前年度繰越支払資金	9,605	9,605	0				
収入の部合計	30,091	30,225	△134	支出の部合計	30,091	30,225	△134

事業活動収支計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで (単位:百万円)

科目	予算	決算	増減	科目	予算	決算	増減
学生生徒等納付金	14,214	14,142	72	資産売却差額	0	0	0
手数料	697	750	△53	雑収入	0	0	0
寄付金	283	313	△30	その他の特別収入	31	30	1
経常費等補助金	2,810	2,753	57	特別収入計	31	30	1
付随事業収入	169	211	△42	資産処分差額	3	29	△26
雑収入	535	639	△104	その他の特別支出	0	0	0
教育活動収入計	18,708	18,808	△100	特別支出計	3	29	△26
人件費	10,473	10,616	△143	特別収支差額	28	1	27
教育研究経費	6,495	6,290	205	[予備費]	309		309
管理経費	1,482	1,383	99	基本金組入前当年度収支差額	148	754	△606
教育活動支出計	18,450	18,289	161	基本金組入額合計*	△1,523	△1,172	351
教育活動収支差額	258	519	△261	当年度収支差額	△1,375	△418	△957
受取利息・配当金	180	235	△55	前年度繰越収支差額	△9,356	△9,356	0
その他の教育活動外収入	0	8	△8	基本金取崩額	0	0	0
教育活動外収入計	180	243	△63	翌年度繰越収支差額	△10,731	△9,774	△957
借入金等利息	9	9	0				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	9	9	0				
教育活動外収支差額	171	234	△63	事業活動収入計	18,920	19,081	△161
経常収支差額	429	753	△324	事業活動支出計	18,772	18,327	445

※ 第1号基本金 | 8億6000万円 教育の質向上のために取得した固定資産の価格
第2号基本金 | 3億円 教育の質向上のために将来取得する固定資産に充てるもの
第3号基本金 | 1200万円 基金として継続的に保持しかつ運用する資産となるもの

貸借対照表 令和5年3月31日 (単位:百万円)

資産の部				負債および純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	117,898	117,869	29	負債の部	12,684	13,312	△628
有形固定資産	65,011	66,681	△1,670	基本金総額	125,176	124,005	1,171
特定資産	50,047	48,284	1,763	第1号基本金	105,786	104,926	860
その他の固定資産	2,840	2,904	△64	第2号基本金	3,100	2,800	300
流動資産	10,188	10,092	96	第3号基本金	15,239	15,228	11
				第4号基本金	1,051	1,051	0
				繰越収支差額	△9,774	△9,356	△418
				純資産の部合計	115,402	114,648	754
資産の部合計	128,086	127,961	125	負債および純資産の部合計	128,086	127,961	125



国学院大学は、令和4年度をもって退職した4人の元教授へ名誉教授の称号を贈ることを決定し、授与式を6月13日に渋谷キャンパスで行った。

針本正行学長は4氏の教育、学術上の功績を紹介した後、「名誉教授の称号は単に実績を評価したものではなく、学生に対する想いの証しでもあるといえる」と本学への長年の貢献に謝意を述べた。対象者は次の通り。

◆文学部 小川直之、林和生
◆法学部 四宮啓
◆人間開発学部 原英喜

4氏に名誉教授の
称号を授与

学部開設から掲げる 「人づくり」のための学問

国学院大学は、戦前から「中等教育」を中心に多数の教員を養成してきた。この伝統を継承し、強化しようと平成21(2009)年4月に開設されたのが人間開発学部だ。それまで本学にはなかった、小学校教員や保育者、保健体育教員やスポーツ指導者などの養成を軸にしている。「人間開発」という名称にはこだわりがある。従来の「教育」は「教え込む」という一方的なベクトルで行われるイメージがあった。しかし、私たちが目指す人間開発とは、人それぞれの持つ可能性が自然に育ち、発露する形だ。人づくりのための学問と

して、その発露を促す環境づくりやサポートに取り組んでいる。

本学部卒業生は、教職以外の一般企業などに就職するケースもある。本学部での学びは、必ずしも教育現場でのみ有効なものではなく、企業の人材育成、スポーツ指導など「指導者」や「リーダー」に必要な能力を開発することを目指しており、学生が社会の幅の広い分野で活躍してくれることを願っている。

本学部の教育の特徴は、学生が日本の国柄や文化を学んだ上で、専門的な知識を身につけることだ。戦後の日本社会は産業の構造が大きく変化

し、人々の暮らし方や家族の在り方もこれに合わせて変わってきた。特に近年は教育現場もグローバル化する中で、さまざまなルーツを持つ子どもが存在し、保護者の価値観も多様化している。これまでの日本社会で、当たり前とされてきたことに疑問を持つ人が増えているともいえる。

2つの「特色」をより強化し、 人間力へと繋げていく

学部開設以来、一貫して大切にしてきたのは、学部理念に基づく「人づくり」つまり「人間力」の育成だ。近年、社会から強く要請されている人間力は、文部科学省の学習指導要領でも言及されてき

このとき、教員や指導者が日本の文化や歴史を理解しておかなければ、なぜそれを行ってきたかという説明ができない。日本の文化を理解することが、時代や状況に合わせてた社会の変化を考えたり、多様な文化の在り方を理解したりする土台になるのだ。

た。では人間力とは何か。本学部では「その人がその人らしく生きる力」と考えている。こうした考え方の上に、研究・教育を続けていく。人間力の育成に向けて、本学部は学生の教育面で2つの

人間開発学部

Faculty of Human Development

「人づくりのプロの養成」をモットーに、多くの卒業生を教育現場や一般企業などに送り出してきた人間開発学部。そんな同学部が目指す教育について、令和5年度より舵取りを行うことになった太田直之学部長に学部が目指す姿を聞いた。

学部創設から 大切にしている 「人間力の育成」 をこれからも



人間開発学部長・太田直之



おおた・なおゆき
平成6年立命館大学文学部卒業。18年国学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(歴史学)。専門は日本中世史。著書に『中世の社寺と信仰―動進と動進聖の時代―』(弘文堂、2008年)。



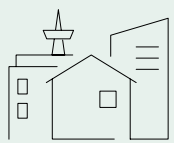
観光まちづくり学部

Faculty of Tourism and
Community Development

それぞれの学部が
目指す未来②

観光まちづくり学部の学部長を務める西村幸夫教授。同氏が目指すのは、地域を客観的に比較し、その地域の良さをもとに未来のまちづくりを担う人材の育成だ。学部初年度となった昨年度の振り返りとともに今後について詳しく内容を聞いた。

地域の物語の “次の章”を 作る 人材を



観光まちづくり学部長・西村幸夫

しむら・ゆきお
昭和52年東京大学工学部都市工学科卒業。54年同大学院修了。工学博士(工学関係)。専門は、都市保全計画、景観計画、歴史まちづくり、歴史的環境保全。東京大学教授、同副学長、マサチューセッツ工科大学客員研究員、コロンビア大学客員研究員、国際記念物遺跡会議(ICOMOS)副会長などを歴任。著書に『県都物語—47都心空間の近代をあるく』(有斐閣、2018年)など。

学生に養ってほしい「地域を 客観的に比較できる目」とは

本学部が目指すのは、「地域を見つめ、地域を動かす」研究・教育だ。「地域を見つめる」とは、歴史や文化から育まれた地域の個性、人の繋がり、暮らしなどを細かく見つめ、改めて地域の持つポテンシャルや可能性を浮き彫りにすることだ。そして「地域を動かす」とは、それを基に未来の地域を作ることを意味する。

特に学生に養ってほしいのは、地域を客観的に比較できる目だ。例えば地元を他の地域と比較すると、「他にあって地元がないもの」に目が行きやすくなる。しかし、どんな地域にも素晴らしい資産が

あるはずだ。ただ、地元の人にとってそれは当たり前で「産と感じにくい。結果、『ないもの』に目が行ってしまいう。まずは客観的に他地域と比較し、資産を見いだす目を養いたい。

歴史や文化の深い考察を踏まえて地域を見つめると、何でもないと思っていた地域一つ一つの個性的な物語があるとかかる。こういった洞察力を持つことは、やがて「地域を動かす」ことに繋がる。最初に「この地域にはこれがない」というネガティブな課題から入ると、そこから生み出す施策は地域の人々の前向きな気持ちで醸成しにくい。し

か、最初にこの地域の良さ、資産を浮き彫りにした上で「さらに良くするための施策」を提案すると、人々は地域に愛着を持ち、ポジティブな原動力になる。そして地域の物語の「次の章」を作っていくこととなる。その起点となる人物を育成する学部でありたい。

以前から、観光学や都市工学、社会学、経済学など地域を考える学問はさまざまなにあった。しかし、地域は一つの学問、側面でのみ語れるものではない。さまざまな学問要素が複雑に絡みあっている。縦割りの学問だけで理解すると、バラバラのまちづくりになる。

その意味で、本学部は多様な専門分野の教員をそろえ、文理の枠を超えて学問を横断的にして地域を捉えていく。

学部の教育的特徴を色濃く表す 「演習」カリキュラム

本学部の学生教育では、学生が「地域を客観的に比較できる目」を養えるよう、1年次からさまざまな地域に赴き、フィールドワークや現地の方とのコミュニケーション活動を通じた学びを重視している。

一般的な大学教育は、まず講義形式で学問の基礎や理論を学び、その後、徐々に学生の関心に合わせて専門分野を

より、小さくさまざまな地域が「観光まちづくり」の視点から盛り込まれている。そんな学部の研究と教育の姿を引き続き描いていく。

絞り、実地や演習的な学びへと移行していくことが多い。しかし、本学部のカリキュラムでは最初から学生に現場を見せ、なぜなら学生の多くは、地元の地域は知っているが、他の地域の暮らしや課題を考えた経験はほとんどない。具体的な地域のイメージがない中で理論を学ぶのではなく、最初に現場を知り、リアリティをとらえて学ん

ツプを行ってきた。これは学校や保育の現場における実践体験型授業科目で、私立大学としては非常に早い段階から導入した。そのほか、健康体育学科ではスポーツ関連企業やチームに赴くスポーツインターンシップも行っている。

さらに、教育実践総合セン

ターと地域ヘルスプロモシ

ョンセンターという学部付設

のセンターでは、「共育フェ

スティバル」や「地域交流ス

ポーツフェスティバル」な

ど、地域と連携したイベント

に関わることができる。運営

自体も学生が積極的に行っ

ている。現場での経験は学生の人間

力を高める。学んだ理論を実

践の場で活かし、それをまた

座学でフィードバックすると

いう学問サイクルを循環させ

て、教育の質をさらに高めていくことが理想だ。

今後は、他学部との取り

組みも推進していきたい。

特に同一キャンパスに開設

された観光まちづくり学部と

の連携は大切なテーマだ。新

しいキャンパスの文化や独自

性をどう作るかも非常に重要

になる。本学部では、中期5

カ年計画に基づく事業構想と

して、学生や地域の方々が集

いびが合う「ユニバーサルキ

ャンパス」を掲げている。さ

まざまなイベントなどを契機

に、学生だけでなく幅広い年

代の多様な人々との交流を生

み出したい。それが学生の人間

力を高めるとともに、本学

部の発展にも繋がると考えて

いる。

i インフォダイジエスト

… 在学生 … 保護者 … 卒業生 … 一般 … 受験生
内容 日にち 時間 場所 対象 定員 料金 申し込み 問い合わせ

大学からのお知らせ

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害に遭われた学生・ご父母等の皆さまへ

令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号により災害救助法が適用された地域に主たる家計支持者が居住し、家計の急変で今後の学業生活に支障をきたすおそれのある学生は、保証人（ご父母等）と相談のうえ下記の大学窓口までご相談ください。

適用対象地域は本学HPや内閣府防災HPで確認してください。

学生生活課（☎03・5466・0145）
▶たまプラーザ事務課（☎045・904・7714）
▶大学院事務課（☎03・5466・0142）

イベント

高校生向けコンテスト作品募集

- ①第27回全国高校生創作コンテスト
- 【部門】
- ▶短篇小説の部（1人3篇以内＝1篇4000字以内）
 - ▶現代詩の部（1人3篇以内＝1篇45行以内）
 - ▶短歌の部（1人3首以内）
 - ▶俳句の部（1人3句以内）
- 【表彰】最優秀賞（各部門1人、賞状・副賞5万円・記念品）、優秀賞（各部門2人、賞状・副賞3万円・記念品）、佳作（各部門5人、賞状・記念品）、文部科学大臣賞（1校、賞状・副賞5万円相当の図書カード・記念品）
- ②第19回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト
- 【部門】
- ▶地域文化研究部門（祭り・伝統行事・郷土料理・方言などの調査研究＝個人・団体）
 - ▶地域民話研究部門（昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体）
 - ▶学校活動部門（学校やクラス単位での生徒による調査研究や活動実績に関する報告に、活動を通じて生徒の「学び」がどのように向上したかについて担当教員によるレポートを加えたもの）
- 【表彰】
- ▶地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞（個人・団体各1作品、賞状・副賞5万円・記念品）、優秀賞（個人・団体各2作品、賞状・副賞3万円・記念品）、佳作（個人・団体各2作品、賞状・記念品）
 - ▶学校活動部門：優秀賞2校（賞状・副賞3万円相当の図書カード・記念品）
 - ▶折口信夫賞：1作品（賞状・研究費5万円・記念品）
- ③応募について
- 【応募期間】7月3日(月)～9月8日(金)必着
- 【応募条件・概要】
- ▶高校生であること ▶自作未発表のもの
- 【応募方法】各コンテストのホームページ（二次元コ

令和5年度 公開古典講座

	開催日	時間	内 容	講 師
万葉集「巻十四」を読む	19日(水)	A	巻十四東歌とは何か①	文学部教授・大石泰夫
		B	巻十四東歌とは何か②	
	20日(木)	A	民衆歌謡としての東歌	武蔵野大学講師・渡部修
		B	東歌と歌垣	兼任講師・伊藤高雄
	21日(金)	A	方言文学の成立 その一	教授（特別専任）・上野誠
		B	方言文学の成立 その二	
源氏物語「御法」巻を読む	22日(土)	A	常陸国の「小筑波」の歌	文学部教授・谷口雅博
		B	東歌冒頭五首	大妻女子大学教授・倉住薫
	23日(日)	A	東歌と東国の山々	文学部教授・土佐秀里
		B	東歌と奈良の都	
	19日(水)	C	【講読1】弱りゆく紫の上	文学部教授・小田勝
		D		
	20日(木)	C	「御法」巻の和歌	文学部准教授・荒木優也
		D	紫の上の祈り―「御願」をめぐる―	目白大学講師・春日美穂
	21日(金)	C	【講読2】紫の上の死	国学院大学栃木短期大学教授・津島昭宏
		D		
	22日(土)	C	消えゆく露の紫の上	湘南工科大学特別講師・太田敦子
		D	源氏物語と能	文学部教授・岩崎雅彦
	23日(日)	C	【講読3】光源氏の悲嘆	文学部教授・竹内正彦
		D		

A：9時30分～10時50分、B：11時5分～12時25分、C：13時10分～14時30分、D：14時45分～16時5分

ード）にアクセスしてください。

▶WEB応募

ホームページにある受付フォームから必要事項を入力して登録してください。作品の提出は、登録後に提出方法をメールでお伝えします。

▶郵送応募

ホームページから専用の応募用紙を印刷し、必要事項等を記入して応募してください。



コ高第
ン校27
テ生回
ス創全
スト作国



コ化域第
ンにの19
テ学回
ス学承回
スト文地

【発表】11月中旬に入賞者に通知、主催者HPでも公表します。

高校生新聞社コンテスト事務局

（☎042・724・2750、☎042・724・2860）

※お知らせいただいた個人情報は、主催者において本コンテストの審査、本人および学校への連絡や資料の発送に利用いたします。なお、個人情報を第三者に提供することはありません。応募作品の返却は不可、入賞作品は当主催者に著作権を帰属します。

公開古典講座



昭和初期に開講した「万葉講座」の流れを受け継ぐ伝統ある講座を4年ぶりに開催します。「万葉集」と「源氏物語」の2講座で、それぞれ1日2講、5日間で10講を実施します。学内外の研究者が講師となり、作品の魅力に迫ります。

7月19日(水)～23日(日)

特別表参照

渋谷キャンパス常磐松ホール

各講座1日2000円。4日以上申し込みやWEBでの申し込みの場合は割引制度があります。詳細はお問い合わせください。

7月7日(金)。申込方法の詳細については、ホームページ（二次元コード）をご確認またはエクステンションセンターまでお問い合わせください。



エクステンションセンター（☎03・5466・0270）

キャリアサポート



※詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡから行ってください

第2回WEB合同企業説明会

本学学生の採用意欲が高い優良企業をお招きして開催する学内合同企業説明会です。就職活動を継続されている方はぜひ活用してください。

7月4日(火)

4年生

第1回求人フェア

夏季採用は、選考のスピードが速いことが特徴です。皆さんの就活状況に応じた情報提供、個人面談も実施いたします。

7月12日(水)

4年生

ソフトテニス部 女子が関東1部初優勝
男子はダブルス戦で関東準優勝

国学院大学ソフトテニス部が所属する関東学生春季リーグの男女1部が5月6、7日に早稲田大学所沢キャンパス（埼玉県所沢市）で行われ、女子が1部昇格2年目にしてリーグ優勝を果たした。

同部女子は初戦で昨年全国王者の明治大学と対戦し、1試合目は寺澤佑珠妃選手（日文2）・高嶺心萌選手（中文2）ペアが5セット全勝で勝利。続くシングルス、ダブルスでも勝利し、3試合全勝で勝

利を収めた。その後も強豪大学を連続で撃破し5勝0敗・勝点5となり完全優勝を果たした。同部女子は6月に広島県福山市で開催される大学王座決定戦への出場権を獲得したほか、寺澤選手と高嶺選手は個人選手全勝賞を獲得した。男子は1勝4敗・勝点1で5位となった。

5月15、16日にはダブルスの第74回関東学生ソフトテニス選手権大会が開催され、同部男子の西本



優勝に笑顔を見せる同部女子(同部提供)

一雅選手（健体4）・黒須証暉選手（神文3）ペアが活躍。決勝で最終ゲームまでもつれる激戦に惜しくも敗れたが、見事に準優勝を果たした。

勝負の夏

どうする就活!?

大学生の就職活動は早期化が進み、3年生の夏が勝負と言われるほど。とはいえ、「まだ就活にピンとこない」「とりあえず始めたけれど、何から進めたらいいの?」という学生も多い。民間企業を目標に就活する3年生が、夏に向け今からできる準備は? キャリアサポート課に話を聞いた。

就活は社会を知ること

新年度が始まって2カ月余り、「まだ就活に気持ちが向かない」「とりあえず動き始めたけど不安」「働きたい業種や職種がイメージできない」という3年生は多いようです。ほとんどの皆さんは社会人として働いた経験が無いのですから、不安があるのは当然です。

だからこそ、卒業後に進んでいく社会を知ることが大切です。就職活動は「大人が働いている世界」を知り、「社会人としてなりたい自分の姿」を探すことと考えてみてはどうでしょうか。業種・職種、企業の規模などを重視するか、どんな働き方を理想とするのかなどは一人一人異なります。社会や社会人の姿を知っておくことは、自身の選択肢を増やすことに繋がります。同時に「この人みたいになりたい」「〇〇のような仕事をやりたい」というイメージを見つけるきっかけにもなるはずです。

ワンポイントアドバイス

- 一人ではできない自己分析
就活でしっかり時間をかけたいのは「自己分析」。よく「ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）」が無いと悩む学生は多いのですが、「ガクチカ」が無いという学生でも、実は趣味や普段の過ごし方などに「推しポイント」が隠れています。自分では気づかなくても、家族や友人、先生だからこそ見つけてくれる点があります。周囲の人に自分のことを聞く他己分析など、誰かの目線で自分への気づきを広げることが大切です。
- 数多くある業界・企業
世の中には、私たちの生活に身近な食品やサービス業以外にも、数多くの業界・企業があります。働き方や、会社の魅力・やりがいも千差万別です。電子部品や化学・通信業界など理系のイメージが強い業界でも、文系学生を多く採用しています。幅広く業界・企業を知ることから始めていきましょう。キャリアサポート課でも独自の冊子やセミナーなどを用意していますので活用してください。もちろんインターンシップも重要です。

インターンシップは社会を知る第一歩

「インターンシップ（IS）参加は必要か」「先輩からISは行かなくてOKと聞いた」という学生の声を聞きます。2023卒で見ると、8割以上の企業はISをその後の採用と何らかの形で連携させているという結果が出ていて、ISの重要性は年々高まっています。

業界や企業の情報はインターネットでも収集できます。しかし、「実際に働く大人の姿」や「一つの仕事にどれだけ業務があるか」などは体験して初めてわかります。ISは「社会との直接の接点」を増やす機会と捉え「参加したからわかったこと」を大切にしてください。ISを通じ、徐々に「憧れる社会人の姿」「自分が重視する価値観」がわかり、進路選択に生かせるはずです。また、就職後の「こんなはずでは」を防ぐことにも繋がります。

就職活動を前に、いろいろな企業を内側から比較できるチャンスを生分に活用しましょう。

ワンポイントアドバイス

- 夏のIS まだ間に合う?
最近になって就活を始めたり、ISの選考で不本意な結果だった場合は「もう間に合わないから」「落選したから」と参加を諦めたり、秋・冬のIS募集まで待つという学生も。ISは夏の受入企業が多く、参加する学生にとっても時間的な余裕があります。この時期から募集をする企業も多く、興味が湧いたらぜひ行動してください。就職支援部署には企業からの募集情報も寄せられますので、不安や疑問があれば、まずは相談に来てほしいですね。
- 勉強や部活に専念したい人は?
「まだ勉強や部活などに専念したい」との相談もあります。就活に専念する、並行して進める—これという正解はありません。勉強や部活に専念したいという方も、WEBで業界情報の収集を始めておく、スカウト型の就活サイトに登録するなどの進め方もあります。少しずつでも「社会に目を向けておく」「自己分析などできる準備から進めておく」ことで、就活に切り替えたときにスムーズに動き出せるようになります。

スケジュールは必ず確認

目指す進路や企業などで採用スケジュールは異なります。年によって変更もあるため、一般的な流れや気になる業界・企業の情報は必ず確認することが大切。特にコロナ禍の影響があった過去3年とは大きく異なるので、先輩などからスケジュールが関係するアドバイスを受けるときには十分に注意しましょう。

3 年 生 ・ 院 1 年 生												4 年 生 ・ 院 2 年 生										
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
自己分析（自己PR）												プレエントリー										内 定 式
業界・企業研究（志望動機）												企業説明会										
筆記試験・面接などの選考対策												ES提出										
インターンシップ（採用直結パターンが増加）												筆記試験										
早期選考						早期内定						面接										
												内々定										

K:DNA——創立141年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

陸上競技部

U20日本選手権 青木選手が日本一 出場全選手が入賞

第39回U20日本陸上競技選手権大会が6月1日から4日にかけヤンマースタジアム長居（大阪市）で開催され、1日に行われた男子5000mを青木瑠郁選手（健体2）が制し日本一に輝いた。昨年度もこの種目に出場し、惜しくも2位となっていた青木選手は見事に雪辱を果たした。同大会での本学選手の優勝は初。

同種目は標準記録を突破した12人の選手により



左から青木、後村、野中、辻原選手
（©月刊陸上競技）

争われた。青木選手はスタート直後こそ最後尾に位置したものの、冷静にレースを進め1000mを過ぎてからは徐々に順位を上げた。集団中盤に位置した青木選手は、満を持して3000mを過ぎてから鮮やかなロングスパートを仕掛けた。一気に先頭に躍り出ると3000mからの1000mを2分40秒と高速で駆け抜け、一時は後続を50m以上引き離す渾身の走りを見せた。その後も勢いは止まらず、他の選手の追い上げを寄せ付けずに独走でゴールに飛び込んだ。記録は13分59秒79で、2位を5秒以上引き離す圧勝だった。

同部からはほかにも、最後まで2位争いを繰り広げた野中恒亨選手（健体1）が14分6秒73で3位、辻原輝選手（史1）が14分14秒57で5位、後村光星選手（健体1）が14分25秒09で8位と出場した4選手全員が入賞。秋の駅伝シーズンに向け、下級生の躍進が感じられる結果となった。



独走でゴールに向かう青木選手（©月刊陸上競技）

柔道部

東京学生柔道優勝大会 3年連続のベスト8

男子72回・女子34回東京学生柔道優勝大会が5月28日、日本武道館（東京都千代田区）で開催され、国学院大学柔道部は男子の部で2年連続となるベスト8の成績を収めた。優勝は東海大学で2年連続29度目だった。

この大会は各大学7人の代表選手による点取り式トーナメント戦で開催され、全36校が出場した。同部は2回戦から登場し立教大学と対戦した。先鋒の小林開道選手（法2）が合わせ技で一本を奪い勝利すると勢いに乗った同部は3番手から7番手が連続で勝利し6-1と圧勝。初戦を順調に突破した。

3回戦では順天堂大学と対戦。接戦が繰り広げられ、4番手まではいずれも引き分けとなる。5番手の三将・松本匡平選手（法3）が1勝を挙げると、続く6番手の副将・後藤颯太選手（健体2 = 写真）が小内巻込で技ありを奪い2勝目。同部はそのまま2-0で勝利を収め、ベスト8進出を決めた。

準々決勝は強豪・東海大学との対戦に臨み、各選手が奮戦したが惜しくも0-3で敗れた。この結果、同部は6月24日に日本武道館で行われる全日本学生柔道優勝大会の出場権を獲得した。



3回戦の副将・後藤選手（写真は昨年の全日本学生柔道団体優勝大会）

硬式野球部

春季リーグ4位



中央大学との3戦目で本塁打の神里選手

国学院大学硬式野球部が所属する東都大学野球1部春季リーグが5月30日に閉幕し、同部は4位となった。

第6週は中央大学との対戦。5月24日の第1戦は1-3と敗れた。25日の第2戦は1-1で迎えた九回裏、無死満塁から柳館憲吾選手（法3）が右翼適時打で勝負を決め、2-1で勝利した。26日の第3戦は0-1とリードを許した三回表、1死三塁から柳館選手の安打で同点とする。六回裏に1-2と勝ち越しを許すも七回表、2死一・三塁から神里陸選手（神文3 = 写真）の左適時打で追い付くなど両者一歩

も譲らぬ接戦となる。迎えた九回表、1死一塁から神里選手が2ラン本塁打、伊東光亮選手（経3）が右適時打を放つなど打線が爆発。一挙3点を加え5-2と突き放し勝利した。

最終第7週では、亜細亜大学との第3戦が5月29日に行われ、接戦の末1-2と敗れた。この結果、同部は6勝8敗・勝点2の4位で春季リーグを終えた。優勝は青山学院大学で17年ぶり13回目。打線の要となった柳館選手は打率3割7分5厘で首位打者賞を獲得した。同部は9月から始まる秋リーグでの雪辱を狙う。